

# 行歯会だより 第178号

(行歯会=全国行政歯科技術職連絡会) 令和4年12月号



## 1 NEW FACE

神奈川県 横浜市緑福祉保健センター福祉保健課健康づくり係 歯科衛生士 酒井 綾

## 2 先輩からのエール

### 歯科衛生士会を通じて生まれた絆

神奈川県 藤沢市健康医療部健康づくり課 歯科衛生士 三澤 洋子

### 歯科衛生士会を通じて広がる輪

島根県 雲南市健康福祉部保健医療介護連携室 歯科保健指導専門員 安部 美智野

## 3 行歯会 Zoom 企画「小規模だからできる楽しい歯科保健」を語り合う Part.2 実施報告

千葉県 船橋市保健所地域保健課 吉野 ゆかり (行歯会事務担当理事・Zoom 担当)

## 4 令和4年度近畿地区府県・保健所設置市歯科保健主管課長会議 開催報告

奈良県福祉医療部医療政策局健康推進課 堀江 博

## 1 NEW FACE

神奈川県 横浜市緑福祉保健センター福祉保健課健康づくり係  
歯科衛生士 酒井 綾



### ○ はじめに

行歯会の皆さまには、日頃より大変有益な情報やお知らせを頂き感謝申し上げます。この度、貴重な機会を頂戴しましたので、自己紹介をさせていただきます。

### ○ 自己紹介

私の出身は、神奈川県の実心あたりに位置する伊勢原市です。都内の大学に通い歯科衛生士免許を取得しました。1年次は千葉縣市川市にあるキャンパスまで片道2時間半をかけて通学しており、毎日小旅行のような気分でした。健康教育の講義が好きだったことと、自身が幼児期からむし歯に罹ってしまったこともあり、妊娠期・乳幼児期へのアプローチができる行政に興味を持ち、ご縁があって令和3年度に横浜市へ入庁しました。

### ○ 横浜市の歯科職

横浜市の行政歯科職は、歯科医師4名・歯科衛生士19名の計23名です。それぞれが市役所本庁・各区福祉保健センターで勤務しています。令和2年度から歯科衛生士の採用が再開し、この3年間で10名の増員となりました。現在は18区全区への歯科衛生士1名配置まであと一步となりましたが、以前は歯科衛生士1名で複数区を行き来し、事業を行っていました。先輩方が長年実績を重ね、歯科保健の重要性を示してくださったからこそ、今私は横浜市で働くことができているのだなと感じています。

### ○ 1年を振り返って

皆さまの記事を拝読すると、入庁時の思い出や初めて携わった歯科保健事業などを紹介されていますが、私の1年目を振り返ると浮かぶのは「コロナ」の3文字です。区歯科衛生士の所属する福祉保健課健康づくり係は感染症対応も担っており、配属当初から歯科保健事業の引継ぎと並行してコロナ対応も行いました。

陽性者への聞き取りなど、前年まではどこか他人事のようにテレビで見ていた保健所業務を実際に行い、歯科衛生士の所属が感染症の管轄である横浜市ならではの貴重な経験ができました。

一方で、歯科では事業の内容を変更・短縮したり、TBIも模型上に限定したりと、口を開けられない・体験できない保健指導や健康教育の難しさを実感しました。また、中止となる事業も多く、歯科衛生士として働いている実感がわからず落ち込むこともありましたが、周囲の人にお世話になりながら、1年を終えることができました。トレーナー、前任の先輩をはじめとした歯科職の先輩方や同期、会計年度任用職員の皆さんなど、関わる人皆さんが優しく、新卒入庁で右も左もわからなかった私に丁寧に指導やアドバイスをくださり、本当に感謝でいっぱいです。また、偶然同じ係に配属となった保健師(写真右)・栄養士(写真左)の同期には毎日支えられています。専門・少数職種仲間として分かり合える部分もありますし、異なる視点に触られるのでとても勉強になります。なにより同じ新卒で、各々の業務を引っ張っている姿に刺激を受け、私も頑張ろうと思える大切な存在です。

2年目も残り半年ほどとなりましたが、業務にもコロナ禍にも少しずつ慣れてきました。事業のオンライン化・非対面化が進む中で、大学でのオンライン講義や動画作成などの経験を活かし、効果的な事業を展開していきたいです。



## 〇 おわりに

皆さまは、横浜市と聞くと中華街やみなとみらいを思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。私も入庁するまでは横浜=みなとみらい・都会というイメージでした。全体研修で横浜市は坂が多いと言われ、全くピンとこなかったのですが、配属初日に区内を車で回ってみると本当に坂だらけでとても驚きました！緑区は名前のとおり緑豊かで、区役所の近くには里山の風景を残す公園もあり、たっぷり自然を感じることができます。横浜市にいらした際は、ぜひ中心地から一歩足を踏み入れ、様々な表情を感じて頂ければと思います。

## 2 先輩からのエール

### 歯科衛生士会を通じて生まれた絆

神奈川県 藤沢市健康医療部健康づくり課  
歯科衛生士 三澤 洋子



行歯会の皆様には、いつもお世話になっております。

この度、原稿依頼を引き受けたものの、コロナ感染の影響もありイベントも縮小、学会などへの参加も自粛する中で何を書こうかな？となかなかペンを走らせることができず、県外の仲間を久しぶりに思い出していたところ、私の心の支えでもある島根県歯科衛生士会の安部会長から「健やか親子 21 全国大会で 8020 の里賞(ロッセ賞)を受賞したよ！」の嬉しい知らせ。受賞式当日、お祝いを兼ねて島根県に向かいました。

私が彼女と知り合ったのは、平成 23 年日本歯科衛生士会理事に任命されてから 2 年後のこと。地域歯科保健委員会でご一緒した時から、歯科保健の推進にける熱い思いに共感し、さらに距離は縮まりました。今ではプライベートを含め家族のこと、仕事のことなど愚痴を言ったり、笑いあったり本当に良き仲間です。

彼女は、島根県雲南市に勤務しながら島根県歯科衛生士会長として地域を牽引し、日本歯科衛生士会でも活躍されるパワフルな方。詳しくは後半、本人に登場していただこうと思います。

少し、自分自身のことを書かせていただきます。私は日本女子衛生短期大学(現神奈川歯科大学短期大学)を卒業後、母校で歯科衛生士を目指す学生指導に就いておりました。結婚・出産を機に退職するもジーンとしていられない性分のため、直ぐに地域に飛び出し歯科保健活動を始めましたが、教科書通りにはいかず、住民一人ひとりに寄り添う難しさを痛感しました。そんな時、地元神奈川県の保健所歯科医師である北原稔先生を始め多くの先生方や歯科衛生士の加藤千鶴子さんとの出会いがあり、地域歯科保健活動のノウハウを教えてくださいました。また、皆さん



もよくご存知の夏ゼミでは多くを学び、知識はもとより「明日から頑張るぞ！」のパワーをいただき、今の私があると思っています。

藤沢市で非常勤・嘱託時代を5年経験し、50歳を目前に正規職員として飛び込み挑戦してきましたが、全てが順風満帆とはいきませんでした。他職種に歯科口腔保健の必要性を説明し理解を求めても、アイデアを提案しても壁は高く、少数職種ゆえの難しさ・悔しさを感じる事が多かったです。しかし、歯科口腔保健の重要性を伝える立場である以上「私、簡単には負けませんから！」と、とにかく他職種の研修にも足を運び色々挑戦してきました。私をそこまで奮い立たせてくれたのも、同じ境遇で勤務する仲間の支えでしょうか。大きな励みになっています。

再任用としての2年が終わろうとしています。振り返れば、いつも素敵な出会いがあったと思います。自分一人では何も行動は起こせないし推進することはできません。仲間があってこそ大きな力となり前進できると思います。これからの時代を担う後輩たちも、歯科衛生士会、行歯会など同じ志を持つ仲間が集う素晴らしさ・力強さを支えに、何事にも挑戦する気持ちを忘れず頑張りたいです。

今回の健やか親子21全国大会 in 島根での再会は私にとって秋の山陰を満喫しながら歯科口腔保健について熱く語る時間でもあり、また改めて絆を確かめ合う二人旅となりました。今後も切磋琢磨しながら、お互いに励ましあい歯科衛生士ロードを続けていきたいです。

長くなりましたが、私の大切な仲間にはバトンタッチします。

## 歯科衛生士会を通じて広がる輪

### 島根県 雲南市健康福祉部保健医療介護連携室 歯科保健指導専門員 安部 美智野

行歯会の皆様には、いつも貴重な情報を提供していただき、ありがとうございます。

良き師であり、良き同学年の友からバトンタッチしました人口約3万5千人の市で会計年度任用職員として勤務しています。歯科衛生士です。

今回原稿依頼があった時、即決したもの何を書こうかと悩みましたが、自分を振り返る良い機会になると思い感謝しています。

雲南市には出産を機に転入し、そして歯科診療所に勤務。しかし、今後は高齢化の進展で在宅療養者が増え、訪問歯科医療等のニーズが増えるのではないかと、歯科衛生士が必要になるのではないかと考え、行政のことは何もわからないまま行政の門をたたき、臨時職員を経て平成11年度から木次町役場の嘱託職員として勤務しました。当時は、主として訪問看護師、保健師と一緒に在宅療養者のご自宅を訪問、機能訓練教室等で歯科保健指導を行いました。「歯科だけを知っていれば良いわけがない。」と食や介護分野、学会参加や発表、各種資格を取るよう地道に自己研鑽してきました。また、他職種と一緒に業務にあたることは歯科診療所では経験できない公衆衛生的視点やPDCAサイクル、住民への健康教育等々を学び、その後の行政業務を長く続けられてきた基盤となっていると思います。そして、介護保険が導入され個別訪問から全世代を対象とした歯科保健事業に業務がシフトしました。平成16年に平成の大合併で6町からなる雲南市が他町の保健師と同じように歯科衛生士を受け入れてくれるのか不安に思いながらも粛々と、そして前向きに取り組んでいこうと決め、日々取り組んできました。合併してから18年が経ちましたが、変わらず他職種や他課、そして他機関と連携し、歯科口腔保健から地域住民の方の健康づくりに展開できるように専門職へ働きかけることを心掛けています。市役所でも関係機関の皆さんと更に良い関係が築け、歯科衛生士の必要性を理解



していただいていると自負しています。現在は、後に引継ぐために今の立場の処遇改善にも奮闘しています。

行政歯科衛生士として勤務する傍ら、島根県歯科衛生士会の数々の役員を歴任し、一般社団法人設立後初代会長となり現在も続いています。また、日本歯科衛生士会理事を経て、今は地域歯科保健委員会副委員長を務めさせていただいています。歯科衛生士を社会的に認めてほしいという思いから無我夢中で会務運営に邁進してきたように思います。一人職場で専門的な相談ができる人がいない中で歯科衛生士会のつながりは、とても支えになる存在であり、強みでもありました。歯科衛生士会役員の高い年月の間に県内外の多くの方との出会いがありました。大変なこともありました。今思えば楽しいことが多かったように記憶しています。三

澤氏とは、歯科保健のことは元よりプライベートも話せる大きな出会いとなっています。良き友であり、同時に良き理解者であり、互いに鼓舞し合い成長できたように思います。

自分ひとりでは前進し目標達成することは困難です。私の経験からも是非、同志はもちろん他職種を含め、それぞれが持つ価値観を認め合い、高め合い、喜び合う仲間づくりをしてほしいです。

若き後輩に「そろそろ引退の時かな？」と話す、「100歳になっても歯科衛生士をされていますよ！」との答え。「そうだね。現役でなくても後方支援ができる！今まで培ってきたものを伝えていくことが役目。」と、これからの人生の中でどんな形でも楽しみながら歯科衛生士を続けていけると気持ち新たに思ったところです。

### 3 行歯会 Zoom 企画

#### 「小規模だからできる楽しい歯科保健」を語り合う Part.2 実施報告

千葉県 船橋市保健所地域保健課 吉野 ゆかり（行歯会事務担当理事・Zoom 担当）

令和3年2月に行歯会初のZoom企画として開催されました『「小規模だからできる楽しい歯科保健」を語り合う』の第2弾が、令和4年9月21日（水）に開催されました。

今回は時期が良くなかったのか？前回に比べて申込者が少なく、前回から世話役である2名に加え、前回参加者1名、新規参加者1名の4名での開催となりました。

自己紹介から始まり、今回のテーマである「With コロナのこれから」として、前半はフッ化物洗口事業や歯みがき実習がコロナの影響で中止となってしまう、事業再開に向けてどのようなことに取り組んだのか、また再開の課題となっていることはどんなことなのか、そして他市町ではどんな工夫をしているのか・・・などを話しました。続いて、マスク生活が長引く中で、高齢者だけでなく、子どもの口腔機能の発育についても心配があるということで、今後の取り組みについても意見交換を行いました。最後に、がん検診と同日に、家族そろっての歯科健診を行っている三重県紀宝町の取り組みについての紹介もしていただき、コロナ禍でも諦めずに、保健師や栄養士などの多職種と連携し、着々と事業を展開している様子を伺うことができました。

コロナ禍で対面での研修会なども減ってしまい、なかなか直接お会いして話せる機会も少なくなっている中で、地元にながら、オンラインで繋がって話せたことはとても有意義な時間となりました。

参加人数が少なかったこともあり、Zoom 担当として参加していた行歯会理事3名も、ちゃっかり話し合いに参加させていただきましたが、所属する自治体が違っても、また自治体規模は違えども、地域に根差した方法で、「住民が幸せに暮らせるまち」を目指して、日々考えて悩みながら取り組んでいる仲間がいることを改めて感じ、また明日から頑張ろう！と思えたあっという間の2時間でした。

余談になりますが、10月に甲府で開催された日本公衆衛生学会の自由集会でも、「With コロナのこれから」と題し、今回の報告をさせていただきましたが、その会場で、Zoom 企画の参加者同士が直接会えて話せたことが、とても嬉しかったです。

行歯会では、オンラインツールを使用して意見交換ができる機会を今後も企画していきたいと考えておりますので、企画の対象となった際には、是非ご参加ください。



## 4 令和4年度近畿地区府県・保健所設置市歯科保健主管課長会議 開催報告

### 奈良県福祉医療部医療政策局健康推進課 堀江 博

去る令和4年8月30日(火)の午後に標記会議を事務局当番で開催しましたので、概要についてご報告させていただきます。

近畿ブロック(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、奈良県の2府4県)では、平成10年度から標記会議を開催しています。今年で25回目になります。構成自治体は

府県(6):滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、奈良県

政令指定都市(4):京都市、大阪市、堺市、神戸市

中核市(14):大津市、豊中市、吹田市、高槻市、枚方市、八尾市、寝屋川市、東大阪市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、奈良市、和歌山市  
の計24自治体です。

会場は奈良県文化会館(奈良市登大路町6-2)で事務局含め約50人の参加で実施しました。厚生労働省からは、医政局歯科保健課歯科口腔保健推進室の山路先生にお越しいただき情報提供していただきました。

新型コロナウイルス感染症の影響で書面開催が2年続いて3年ぶりの集合開催となり、久しぶりの再会ということもあって休憩時間や会議終了後も大いに盛り上がりました。

次第は下記のとおりです。

- 1 開会挨拶 奈良県福祉医療部医療政策局長
- 2 出席者紹介
- 3 厚生労働省からの情報提供・意見交換  
厚生労働省医政局歯科保健課 歯科口腔保健推進室 主査 山路 正登 氏
- 4 全体協議
  - ・若い世代に向けた歯科保健事業の実施について
  - ・コモンリスクアプローチ等、歯科以外の分野と連携した歯科保健の取組み推進について
- 5 分科会(府県・政令指定都市・中核市ごとの協議)
  - (1) 府県協議
    - ・市町におけるオーラルフレイル改善事業のフォローアップについて
    - ・障害児(者)の歯科受療の機会確保について
  - (2) 政令指定都市協議
    - ・乳幼児のむし歯有病者の二極化、及び地域格差への対応について
    - ・歯周病(歯周疾患)検診の受診率向上について
  - (3) 中核市協議
    - ・歯周病(歯周疾患)検診の受診率向上について
    - ・口腔の健康と全身疾患の関係についての啓発方法について
- 6 分科会報告
- 7 厚生労働省 講評
- 8 次期事務局自治体からの御挨拶
- 9 閉会

来年の事務局当番は和歌山県が担当されることになっています。

「歯っとサイト」掲載コンテンツ募集!

「歯っとサイト(歯科口腔保健の情報提供サイト)」

<http://www.niph.go.jp/soshiki/koku/oralhealth/index.html> では、

掲載コンテンツを募集しています。

掲載を希望される場合は、「行歯会だより」の配信メールに記載されている編集担当宛にご連絡ください。

## ♪ 編集後記 ♪

12月の週末は、知人のミカン農家で収穫のお手伝いをするのが年末の恒例行事です。ミカンはひとつひとつ手作業で収穫し、ヘタの部分をもう一度丁寧に切り取ります（箱の中で他のミカンを傷つけないため）。枝と枝の間に入り込み、橙色の実を目指して腕を伸ばしたり、しゃがみこんだり、青空の下（ミカンが濡れていては収穫できません）無心で行う作業は清々しく、全身運動&リラックス効果抜群です。皆さま、良いお年を！！（條）

今から、年末年始のお休みを楽しみにしています。この時期、クリスマスやお正月の料理の買い物も楽しみつつ、本屋さんで年末年始のお休みに読む本を買うことにしています。本屋大賞の受賞作品もチェックして。そうそう、我が家にある100巻を超えた名探偵コナンの単行本も読み返してみようかなあ…。初心に戻ることが出来そうな気がします（笑）皆様、今年もお世話になりました。良いお年をお迎えください。（島）